

統計学 1 中間課題 答案（再提出）

文理学部 情報科学科

5419045 高林 秀

2022 年 12 月 14 日

概要

本稿は、後期総合教育科目である統計学 1 の中間課題として与えられた、健康診断データの分析に関するレポートである。

平均や、標準偏差といった各種指標数値の計算には Python のライブラリである Pandas を用いて計算を行った。また、グラフの描画には matplotlib を使用した。

はじめに、各数値データ（年齢、身長、体重、最大血圧、最小血圧）に関して、それぞれ平均や標準偏差、度数分布表、ヒストグラムを作成し、元データ全体がどのような分布になっているかについて考察する。

その後、各数値データの相関比を算出しデータ属性同士の関連性を考察する。

最後に、各数値（量的）データと質的データ（血圧判定、心電図判定）の関連性をクラメールの関連係数を用いて考察する。

目次

1	各数値データの概要	1
2	各数値データの相関比	1
3	各属性のクラメールの関連係数	1
3.1	計算機環境	1
3.2	図表一覧	1
3.3	ソースコード	1

- 1 各数値データの概要
- 2 各数値データの相関比
- 3 各属性のクラメールの関連係数

付録

- 3.1 計算機環境
- 3.2 図表一覧
- 3.3 ソースコード